

日本海における最大クラスの地震・津波による被害想定について

平成28年度に、京都府防災会議専門部会「京都府津波被害想定等検討委員会」において検討。現在、想定結果について精査中。

1 津波被害想定の対象断層

津波浸水想定の設定の際に計算対象とした、最大クラスの津波を起こす地震の7断層（日本海中部地震、F20、F24、F49、F52、F53、F54）

→ 裏面「断層位置図」参照

※ 対象とする断層による地震動と津波を想定し、被害数量を計算する。

2 津波被害想定を行う項目

〈建物被害〉「全壊」「半壊」「焼失建物」

〈人的被害〉「死者数」「負傷者数」「重傷者数」「要救助者」「短期避難者数」

「長期避難者数」

※ 京都府地震被害想定調査（平成20年度公表）と同様の9項目

3 津波被害想定のお扱ひ（京都府地震被害想定調査との関係）

対象とする7断層のうち、F53（若狭湾内断層）、F54（郷村断層）については、京都府地震被害想定調査の対象断層にも含まれているが、被害想定に使用した断層モデルや人口等が異なることから、併存させる。

○ 断層位置图

